

# 低ひずみ・高安定度・周波数固定・2相発振器OSC-01-

## 特長

- 低ひずみ率。
- 出力振幅安定度がよい。
- 90度位相差の2相出力が得られる。
- 発振周波数は発注時に指定できる。

## 概要

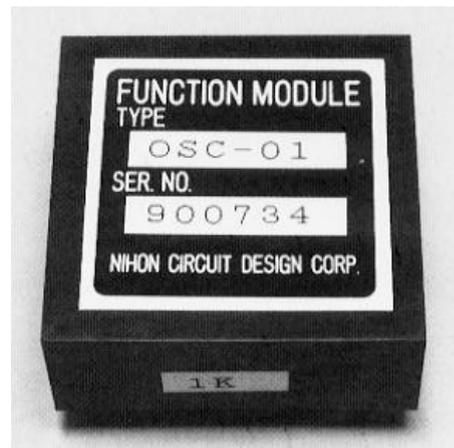
OSC-01モジュールは、従来からのウィーン・ブリッジ型発振回路とは原理的に異なる、状態変数型発振回路で構成されています。

基本構成は2個の積分器で構成され、2段で180度の位相差を生ずる周波数で発振します。積分器は-6dB/octの周波数特性を持っているため、増幅器などで発生する高調波を抑圧できる特長を持っています。

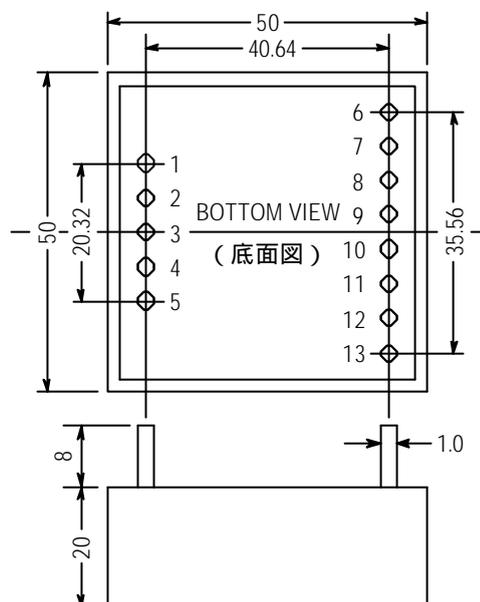
低ひずみ、高レベル安定度を要求するCR発振回路では、振幅制御回路の特性が重要です。本モジュールでは、接合型FETを可変抵抗素子としたAGC回路で構成され、基準電圧は温度特性の優れた温度補償型ツェナーダイオードを使用しています。

## 主な規格

- 発振周波数 20Hz ~ 200kHzの1波  
(上記以外の周波数も製作可能)
- 周波数安定度  $\pm 100$  PPM / 以下
- 発振出力レベル 7.75V<sub>rms</sub> (約22V<sub>pp</sub>)
- 出力振幅安定度  $\pm 100$  PPM / 以下
- 出力インピーダンス 600  $\pm 10\%$ 以下
- 最小負荷抵抗 600 以上
- ひずみ率 COS出力 0.01% (200 ~ 20kHz)  
SIN出力 0.02% (200 ~ 20kHz)
- 動作温度 0 ~ 50
- 電源電圧  $\pm 15$  V  $\pm 10\%$ 以内
- 電源電流 40mA以内
- 外形寸法 50 x 50 x 20mm
- 重量 80g以下



外形寸法図



端子接続表

端子番号	信号名称	備考
1	COS	COS出力
2	SIN	SIN出力
3	GND	接地
4	f <sub>0</sub> adj	f 微調
5	f <sub>0</sub> adj	"
6		
7		
8	V <sub>R</sub> OUT	基準電圧出力
9	V <sub>R</sub> IN	" 入力
10		
11	0 V	電源 0 V
12	-V <sub>CC</sub>	電源 -15 V
13	+V <sub>CC</sub>	電源 +15 V

OSC-01内部構成

